

水と緑に恵まれ、自然豊かな

里地、里山に囲まれたいきいきしらやま

第20回

総

会



令和2年6月27日（土）午後7時00分

いこい館 多目的ホール

しらやま振興会

《総 会 次 第》

1 開 会

2 会長あいさつ

3 来賓祝辞・来賓紹介

4 総会成立宣言

5 議長選出

書記、議事録署名人指名

6 議 事

第1号議案

(1) 2019(令和元)年度事業報告について

(2) 2019(令和元)年度決算及び監査報告について

第2号議案

2020(令和2)年度事業計画及び予算について

第3号議案

役員を選出について

7 議長退任

8 副会長あいさつ

9 閉 会

第1号議案

(1) 2019(令和元)年度事業報告

<概要>

●2019(令和1)年度は昨年度に改定した3カ年振興計画の初年度でありました。今回の3カ年振興計画は、これまでの継続事業が多く、地区民には変わり映えしない振興会とみられたかもしれませんが、しかし、各集落、各種団体から選出された振興委員の議論を経て、当地区の課題に対し、継続して取り組むことの必要性があることなどから、総会において、承認された振興計画に基づき、各部役員が苦勞して、工夫を凝らし、事業に取り組みました。

●越前市が策定した、多文化共生推進プランに基づき、しらやまっ子、多文化を学ぶ特別事業に取り組みました。

「外国の文化に触れることは、多様性を理解しつつ、日本人としての誇りや地域への愛着を深める良い機会だと思う。交流を通して外国人に対する偏見や差別などをなくせるよう、このような活動を市内の全地区に広げていただけたら」

などの特別事業審査委員のコメントをいただきました。

越前市(審査委員から)のコメントを添付します。

●市の要請のもと、28年度途中から、国の介護予防制度の大きな変更でもある住民主体の日常生活支援推進総合事業(地域支え合い推進事業)に取り組んでいます。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型住民サービスB型【サポートしらやま】が平成29年11月2日から電話当番を配置し、受付相談に応じ、11月末からサービスを開始しています。今年当初に全地区民に必要なサービスについて、アンケートを実施し、令和2年度から新たな取り組みを予定しています。

●しらやま学童保育事業は5年が経過しました。児童が減少する中でも学童保育児童数は伸びています。土曜保育も継続して行っています。地域の子供を地域の大人がお世話するという市内で、初めての取り組みでしたが、各方面からも注目され、しらやまっこには大切な取り組みとなっています。

●福井県の委託事業であるコウノトリ飼育事業も日常の地道な取り組みですが、飼育員の努力もあり、兵庫県から預かっているコウノトリも元気に生活し、野外コウノトリが継続して産卵を続けています。

●当会が主導して発足した、エコグリーンツーリズム「水の里しらやま」は5年が経過し、歩みを大きく進展させています。令和元年6月に本格オープンした「白山さんち」福井ふるさと茶屋事業に取り組み、農家レストラン、カフェ、農産物販売など本格営業をスタートさせました。

●今年早々からの新型コロナウイルスの蔓延という、近年では経験したことないリスクのため、当会事業が停滞しました。防災講習会始め、多くの事業、会議が停止、縮小となりました。地区民の皆さんに多くのご心配をおかけしましたが、ようやく、一部の活動から再開をすることができるようになりました。

また、5月中頃、コロナに負けるなど、医療従事者等への感謝の意味を込めた、「心一つワンチーム」という看板を公民館、白山さんち横に設置しました。今後は、越前市、福井県などの情報を的確に把握し、対策を取りながらの活動をするようになります。



しらやま振興会
会長 坂井 諭一 様

市民協働課長 見延 政和



令和元年度地域自治振興事業特別事業の事業報告に係る審査員からのコメントの送付について

早春の候、貴殿におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より、市政及び市民協働の推進につきまして、格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、先般ご提出いただきました地域自治振興事業特別事業の報告書につきまして、審査員の方々からの事業に関するご意見をいただきましたので、別添のとおり送付いたします。今後の自治振興・協働事業にお役立ていただきますようお願いいたします。

記

事業名	しらやまっ子、多文化を学ぶ事業
審査員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・他の地区でも展開されるべきテーマで、先進性は素晴らしい。事業（活動）内容に対して、支出が備品にかたよりすぎている。アイデアを生み出し、実現するための支出になっていることを望む。 ・子どもたちの感想があればよかった。事業継続に期待する。 ・白山地区はコウノトリをシンボルに地域再生に取り組んできた。しかし人の暮らしはもっと大切であり、里地里山を人の手で守ることが大切である。徐々に高齢化していく中で、子どもたちに素晴らしい自然環境で教育を行っても、進学や就職を機に地区から流出していくのでは意味がない。海外から来た人との交流を通してより広域的な連携、民泊など、先駆的な活動を継続して、加速する過疎化に歯止めをかけていただきたい。 ・新たに創るのではなく、これまでの事業と連携発展させたのは現実的であり、多くの地区民の参加を無理なく行ったアイデアは素晴らしい。他の地区での活動の参考になると思われる。 ・外国の文化に触れることは、多様性を理解しつつ、日本人としての誇りや地域への愛着を深める良い機会だと思う。交流を通して外国人に対する偏見や差別などをなくせるよう、このような活動を市内の全地区に広げていただけたら。 ・十分な成果をあげられていると拝察した。

《問合先》

越前市 市民協働課 中村

TEL : 0778 - 22 - 3293 / FAX : 0778 - 22 - 7497

<各種会議>

【市自治連合会・事務局等会議】

5月18日	越前市自治連合会通常総会・第1回事務局長会
9月25日	第2回事務局長会
10月3日	議会と自治連合会との意見交換会
12月11日	第1回理事会・理事研修会
3月6日	第2回理事会
5月15日	第3回理事会（コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

【各種事務局会議】

4月20日	（第19回）しらやま振興会総会
5月10日	2019 地域ミーティング（エコビレッジ交流センター）
6月6日	事務局会議
6月11日	第1回運営委員会
7月23日	各種団体代表者会議
8月31日	県原子力総合防災訓練・避難訓練参加
9月11日	第2回運営委員会
9月12日	市監査説明会
9月19日	市監査
11月21日	男女共同参画事業 講演会「シニアのための人生整理術」
12月10日	歴代会長会
12月17日	第3回運営委員会
3月26日	第4回運営委員会
6月18日	第5回運営委員会（新旧役員）
6月27日	（第20回）しらやま振興会総会

<各専門部報告>

【ふるさとふれあい部】

●太陽の広場さくら祭り 実施月日：2019年4月14日

桜が満開の中、安養寺こども園の園児の遊戯やキッズダンス、芸能ショーのステージが行われ、お楽しみコーナーでは焼き鳥等の模擬店もにぎわいをみせました。安養寺で巣作り中だったコウノトリカップルのメスの愛称募集キックオフも行われ、あいにくのお天気にも関わらず盛り上がりを見せていました。

●しらやま夏まつり 実施月日：2019年8月3日

白山地区最大のイベントである夏まつりは、実行委員会を中心に各種団体のご協力をいただき 準備を行い、夏まつりを盛大に行うことが出来ました。今年もスタッフ揃いのTシャツで来場者をお迎えしました。バルーン、キッズダンスに始まり、加藤茂樹と愉快的仲間たちによるライブが開催

されました。チーム対抗盆踊りは町内や団体から参加をいただき賑やかな盆踊りになりました。そして最後を締めくくる花くじ抽選会では、旅行券、圧力鍋、オーディオスピーカーなどの豪華景品を目指して大勢の方に参加いただきました。

- さぎ草展 実施月日：2019年8月10日～13日
さぎ草王国の人達が丹精こめて育ててきた「さぎ草」の展示を行い、今年は第20回を記念し作成した「安養寺町さぎ草王国 20年の歩み」を来場者に配布しました。来場した方々は可憐な花に満足されていたようでした。
- 白山地区総合文化祭 実施月日：2019年10月27日
今年も「敬老会」「健康まつり」との合同開催となりました。芸能発表や歌謡ショーなど多くの出し物があったこともあり、多くの方に参加者いただけました。
展示は例年同様にたくさんの方々のご協力により盛大のうちに終わりました。特別展はコウノトリの雛が誕生したこともあり「人も生き物も元気な里地里山」と題し、水辺の会による展示を行いました。また、町内の方々や団体、サークルによる芸能発表にも多くの方が鑑賞していました。さらに毎年恒例のうどんやカフェ、バザーも好評で盛況に終わる事ができました。
- 金華山秋の収穫祭 実施月日：2019年11月10日
当日は天候にも恵まれ、地区内外からも多くの方にご来場いただき、持ち寄られた野菜なども盛況のうちに完売となりました。また、おろしそば、大鍋、おにぎり、焼き芋などには行列ができ、来場者の方々には里地里山の自然と食を堪能していただきました。恒例の「天城山ウォーク」はクマの出没により中止となりました。
- しらやま冬ものがたり 実施月日：2020年2月2日
今回は全く雪がなく晴天の中での開催となりました。そのおかげで自作の凧で芝生を走り回り、凧揚げに興じる子供たちが見受けられました。また、おでんやお餅なども盛況でした。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
4月14日	桜まつり	500名
6月7日	四役会	5名
6月14日	部会	7名
6月25日	しらやま夏まつり 第1回実行委員会・各担当会議	24名
6月～8月	盆踊り練習会(4回)	28名
7月7日	しらやま夏まつり 横断幕設置	3名
7月18日	しらやま夏まつり 第2回実行委員会・各担当会議	28名
7月27日	しらやま夏まつり 提灯設置	14名
8月3日	しらやま夏まつり 準備	70名
8月3日	しらやま夏まつり	500名
8月4日	しらやま夏祭り 横断幕撤去	3名
8月10～13日	安養寺さぎ草展	400名
9月25日	部会	9名
9月27日	文化祭 第1回実行委員会	22名
10月9日	文化祭 芸能発表打合せ	3名

10月17日	文化祭 第2回実行委員会	28名
10月26日	文化祭準備	80名
10月27日	白山地区総合文化祭・敬老会・健康まつり	500名
11月11日	金華山 秋の収穫祭	550名
12月18日	しらやま冬ものがたり実行委員会	26名
2月2日	しらやま冬ものがたり	160名

【福祉健康部】

白山地区の人々が、長寿社会のなかで、運動・食生活・親睦を通じて元気で豊かな日々を過ごされるように、手助けをしたいと考え活動しました。

●白山地区体育祭

青空の下、小さな子供さんからご高齢の方まで白山地区民が一同に集まり、運動を通して親睦を図りました。

●敬老会

令和元年度の敬老会は中学校講堂に於いて文化祭と同時開催としました。85歳の長寿のお祝い、夫婦そろって75才以上になられた金婚の方のお祝いとして壽詞贈呈を行いました。

●健康まつり

文化祭と同時開催となっている健康まつりでは文化祭展示コーナーの一角で健康まつりのスペースを作り体力測定と整体、リフレクソロジー、手洗いチェックを体験していただきました。

「三歳児虫歯のない子」の表彰式も行い、若い世代にも参加してもらいました。

●健康ウォーク

今年度はバスを利用して勝山での健康ウォークを行いました。勝山市のまちなかルートを散策し、階段状の地形のなかにある文化的景観を楽しんだ後、恐竜博物館を鑑賞しました。

●独居老人食事サービス

一人暮らしの高齢者を対象に民生委員の協力の元、食改・日赤奉仕団・福祉推進員の方に弁当を作ってもらっていただき、個々のお宅に配布をしながら日々の健康・生活を見守りました。

●見守りマップと緊急時連絡表の作成

白山地区の人々が助け合い支え合う地域づくりを目指すため、主に高齢者の家庭に貼ってもらうための緊急時連絡表、また高齢者を各町内にて見守るための見守りマップの作成に取り組んだ。これらの作成により、昨今増加している自然災害にも役立つことも視野に入れている。この作業は来年度以降も引き続き行っていく予定です。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
5月23日	四役会	4名
5月26日	白山地区体育祭	600名
7月2日	部会	14名
7月2日	福祉ネットワーク会議	44名

7月～8月	市民体育大会（サッカー、綱引き、ボウリング、ソフトボール）	
8月7日	四役会	4名
8月28日	四役会	4名
9月18日	部会	12名
9月29日	健康ウォーク in 勝山	24名
10月20日	秋季大会（スリータッチボール）	200名
10月27日	敬老会	150名
〃	健康まつり	100名
10月29日	四役会	3名
10月～11月	介護サポーター養成講座（全4回）	84名
11月4日	西部地区体育振興球技大会	20名
11月6日	生活支援推進事業 先進地視察研修（米原市）	10名
11月6日	福祉推進員への見守りマップ作成説明会（第1回）	11名
11月13日	福祉推進員への見守りマップ作成説明会（第2回）	8名
11月13日	配食サービス（1回目）23食分	13名
12月4日	四役会	4名
12月14日	友愛訪問（独居高齢者慰問）	
12月14日	配食サービス（2回目）23食分	13名
1月15日	町内つどい代表者会議	16名
1月18日	配食サービス（3回目）22食分	13名
2月9日	冬季大会（綱引き・ビーチソフトバレー・卓球）	200名
2月11日	配食サービス（4回目）23食分	14名
2月20日	認知症講座	29名
3月7日	介護予防教室 「介護予防食講座」	11名
3月11日	四役会	3名
通年	生活習慣病予防食料理講習会	
通年	はつらつ教室（毎月1～2回）	

【しらやまっこ育成部】

少子高齢化が進む中、白山で生まれた子供たちが、地区の皆様の協力のもとすくすくと育つように、また、子育て世帯の負担が少しでも軽減されるように、との考えのもと以下の活動をしました。

●しらやまっこ広場

子ども会主催のキャンプの前に、丸岡町ふれあい会館で、ペットボトルを使った弓矢づくりと、フォトフレームのデコレーションをしました。小学生を中心に参加してもらい、高学年が低学年の児童に教えながら、みんな素敵な弓矢と、フォトフレームを作成しました。

●合宿通学

今年度より、今まで公民館事業であった小学3・4年生を対象にした合宿通学を9月中旬に行いました。近年の猛暑を避けるために、例年より2週間時期を遅らせて行ったことにより、暑さも和ら

いで、楽しい3日間を過ごすことができました。白山出身の学生ボランティアの協力を受けました。また、地区の方々には、もらい湯や食事づくり等で大変なご協力をいただきました。

●はたちの旅立ち

20歳になる新成人をお祝いするために、市の成人式終了後、公民館で行いました。恩師の先生を三名迎え、ビンゴゲームや近況報告などをして、楽しいひとときを過ごしました。彼らの中で一人でも多くの方が白山に残ってくれることを期待しています。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
5月29日	部会	14名
6月27日	部会	13名
6月29日	子育て広場（越前和紙でうちわをリメイク）	19名
7月17日	合宿通学第1回実行委員会	12名
7月27日	しらやまっこ広場（弓矢作り、フォトフレーム作り）	23名
8月29日	合宿通学第2回実行委員会	9名
9月4日	合宿通学保護者説明会	16名
9月19日～21日	合宿通学	約60名
9月下旬	一行詩募集（武生第五中学校）	70名
10月27日	一行詩展示（文化祭）	10名
12月5日	はたちの旅立ち打ち合わせ	8名
12月26日	はたちの旅立ち最終打ち合わせ	9名
1月12日	はたちの旅立ち	約40名
1月	タイムカプセル小学校へ依頼	
3月5日	一行詩製本、一行詩五中へ	6名
5月～10月	子どもお茶クラブ（9回）	70名
5月～12月	子ども教室（4回）	39名

【安全防災部】

交通安全事業としては、交通安全指導、地区行事時の交通整理、雑踏警備を行いました。また、交通安全協会・白山防犯隊の協力のもと、交通安全啓発チラシ配布を行いました。

防犯事業としては、防犯パトロールを毎月第2火曜日に防犯隊の方々に同行し区内を巡回しました。白山防犯隊を中心として、スイカパトロールも実施しました。

子ども見守り活動として下校時パトロールを行い、小学生全員にクマ鈴を配布しました。

新しい事業として、防犯防災出前講座では牧町で実施し、南越消防組合より講師をお招きし、火災予防についてお話をお聞きしました。

3月に予定していました地区防災講習につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっております。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
4月14日	桜まつり 交通整理・防犯パトロール	7名
5月26日	地区体育祭 交通整理・防犯パトロール	13名
6月13日	部会	8名
7月28日	防災看板点検・修理作業	6名
8月3日	しらやま夏祭り 交通整理・防犯パトロール	11名
9月22日	地区戦没者慰霊祭	1名
10月10日	地区運転者講習会	70名
10月27日	地区文化祭・敬老会・健康まつり 交通整理・防犯パトロール	9名
11月10日	金華山秋の収穫祭 交通整理・防犯パトロール	9名
12月10日	子ども安全見守り活動 小学生登下校安全用クマ鈴贈呈	
12月	年末特別警戒	12名
2月2日	しらやま冬ものがたり 交通整理・防犯パトロール	4名
2月24日	防災出前講座（牧町）	15名
4月～3月	下校時パトロール	約250名
6月～3月	防犯パトロール	59名
7月～8月	すいかパトロール 3回	18名

【広報部】

本年度は、「山干飯の里 しらやま」を発行致しました。広報部員も地区や各町内の行事に参加し、写真等の資料を残しその写真を読みやすい紙面としました。地区文化祭では各広報部員の撮影した写真をパネルに展示し、多くの人の目に留まったことと思います。

「しらやま SATOYAMA スタジオ」は月1回（第4日曜 13:00～14:00 たんなん FM (79.1MHz)）とインターネットにより“しらやま”の情報を県内外に発信してきました。前年同様白山地区の若者たちが中心となって運営しており、白山地区のゲストを迎え魅力ある番組を製作し、地区の知名度を上げる大きな戦力となっています。

【自然環境部】

しらやま地区里地里山の保全再生や自然景観の美化を最優先に、人も生物も元気が出る地域づくりを目指して活動してきました。

●白山小学校・・・田植え&稲刈り（+収穫感謝祭）

田植えは、5月21日午後より高学年5・6年生による昔ながらの手植えにて全員が泥紛れに奮しながら、楽しく体験することが出来ました。

また稲刈りにおいても、9月11日に行われ黄金色に実った稲を、鎌を片手に慣れない手作業による収穫を行いました。後の収穫祭も実施されました。

●花いっぱい運動

県推奨による事業を活用し、主に県道沿いにプランターを設置、他に各町内公民館やバス停などに

設置しました。

●彼岸花球根植え

毎年彼岸花球根を植えておりますが、今年は場所を変更し公民館近郊の土手に植えて行きました。

●不法投棄パトロール

自然豊かな白山地区にも、この課題は多数の町内にありました。一部は南越清掃組合にて処理頂きました。今後も毎年この活動を実施し、少しでも不法投棄がなくなるようにパトロールを行っていきます。

●間伐材活用 杉丸太皮むき（丸太小屋づくり）

昨年度末に間伐材が切り出され、丸太小屋づくりにむけた事前作業として、杉皮むきを行いました。重労働且つ慣れない作業も重なりましたが、各部からの応援も頂き本年度分はすべて完了しています。2020年度完成としています。

【活動経過】

月 日	活 動 内 容	参加人数
5月7日	四役会	3名
5月14日	部会	6名
5月21日	田植え体験学習…白山小	2名
6月30日	花いっぱい運動 プランター花苗植え作業	5名
6月30日	間伐材杉皮むき（1回目）	6名
7月7日	間伐材杉皮むき（2回目）	10名
7月27日	彼岸花球根植え & 環境パトロール	6名
8月11日	間伐材杉皮むき（3回目）	12名
9月11日	稲刈り体験学習…白山小	2名
10月20日	間伐材杉皮むき（4回目）	6名
11月4日	自然体験学習 野坂山登山	10名
3月24日	四役会	4名
	老人クラブ公民館周辺草刈り作業（3回）	
	住民参加の花壇づくり（安養寺、都辺、中野、下黒川）	
	里山里水整備（天城山、西部広域林道、解雷ヶ清水、勝蓮華の滝）	

【施設運営部】

しらやまいこい館は、平成18年4月から指定管理者として受託し、令和2年4月で14年が経過しました。28年4月から3期目となり、令和3年3月までの5年間の業務委託を受託しており、本年度が最終年度となります。また、越前市みどり自然の村 太陽広場は、26年度より5年間の業務委託を受け30年度で指定管理の受託が終了しました。31年度からは、引き続き、指定管理ではなく施設管理を委託され受託しました。

●しらやまいこい館の管理運営

いこい館は現在、「水辺と生き物を守る農家と市民の会」「コウノトリPRコーナー」で毎日利用され、地区内外から大勢の方が訪れています。和室では各種会議やミーティング、体育館は、老人ク

ラブ、グランドゴルフ練習、子ども会卓球練習、地区内外のスポーツ少年団の練習、田んぼファンクラブ収穫祭などに活用されています。また、いこい館の和室とホールを、令和2年1月からコウノトリPRコーナーの拡張と和室から研修室への改修のために一時使用が出来なくなりました。コウノトリPRコーナーの拡張により、展示内容がリニューアル・拡充されることから、さらなる来館者の増加が予測されます。年末には利用者の方も協力頂き、大掃除を実施しました。今後も来館者が気持ちよく利用できるように努めます。

<令和元年度 いこい館利用者数> 6,786人 (H30 6,887人)
 (内訳) 和室、体育館、研修室 : 3,076人 (H30 3,074人)
 コウノトリPR館来場者 : 3,710人 (H30 3,813人)

●越前市みどりと自然の村の管理運営

みどりと自然の村 太陽広場は、主にキャンプやバーベキュー場として沢山の方に利用して頂いています。近年の入場数を分析すると、キャンプの利用が右肩上がり伸びているため、31年度はキャンプ部門を強化すべく、春には芝生広場でのオートキャンプ場の試験運用に伴い、洗い場施設の増設工事などを実施し、通年にわたり芝生広場でキャンプ客を受け入れるなどで、キャンプ人口の底上げを図りました。

また、利用者団体が行う桜まつり、さぎ草展、キャンプイベントなども昨年同様開催し、その他にもいくつかの団体に活用して頂きました。更に連携事業としてはエコ・グリーンツーリズム『水の里しらやま』との共催で、夏場は「流しそうめん」などの体験を折り込んで、子ども会やスポ少を受け入れ、冬季には、『門松作り』や、『しらやま冬ものがたり』を開催し、年間を通じて利用者拡大に努めました。

次年度は、新型コロナウイルス対策でGW明けまでの閉鎖が決まるなど、利用制限が続く厳しい出足となりますが、引き続き、これまでの利用者拡大策を行っていくと共に、利用者様のご意見も考慮し、利便性の高い施設の運営・環境改善に努め、利用者増を図りたいと思います。

<主な利用イベント>

4月14日	桜まつり	500人
5月1日	フジアルテBBQイベント	900人
7月6日～7日	市子供会連合会キャンプ	70人
7月13日	吉野サッカースポ少 流しそうめん体験など	100人
7月15日	北陸高校吹奏楽部	130人
8月7～8日	福大探検隊、なかよしクラグキャンプ	100人
8月10～13日	さぎ草展	400人
8月18日	国高小親子BBQイベント	90人
10月中	丹生高校、羽水高校、高志高校など遠足	200人
10月20日	萩野小PTABBQイベント	100人
11月2日～3日	キャンプフェスタ	220人
12月21～22日	門松作り	50人
2月 2日	しらやま冬ものがたり	160人

令和元年度越前市みどりと自然の村 利用状況

(平成31年4月～令和2年3月)

(単位：人)

月	稼働 日数	サン・スポーツ ランド		レスト ハウス	キャンプ場		芝広場	利用者総計
		管理棟	2F		バーベキュー	キャンプ		
31/4月	25	0	0	24	758	487	1,749	3,018
5月	26	0	0	48	1,184	1,586	2,347	5,165
6月	26	0	0	9	469	178	495	1,151
7月	26	15	20	26	1,090	386	1,396	2,933
8月	28	30	0	132	601	670	1,588	3,021
9月	25	0	0	105	447	515	980	2,047
10月	27	0	0	13	686	369	858	1,926
11月	22	0	0	12	191	693	1,411	2,307
12～1月	36	0	0	1	0	240	226	467
2月	20	162	0	4	0	252	378	796
3月	25	0	0	15	102	586	718	1,421
合計	286	207	20	389	5,528	5,962	12,146	24,252

利用状況比較（過去4か年）

年度	テニス	レストハウス (含サルス*2F)	バーベキュー	キャンプ	芝広場	利用者総計
28年	409	253	6,816	2,642	14,625	24,745
29年	197	389	6,928	3,207	14,353	25,074
30年	153	618	6,190	4,935	12,008	23,904
元年	0	616	5,528	5,962	12,146	24,252

2019(令和元)年度決算

● 一般会計

収入の部

【基礎事業・協働事業・特別事業】

単位:円

項目	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額	備考
繰越金	1,106,934	1,106,934	0	1,106,934	前年度繰越金
市交付金	4,834,000	4,613,000	-221,000	4,613,000	基礎事業1,844千円(一般防犯灯電気料交付金額121千円、社会教育講座事業140千円含む) 協働事業 2,289千円 特別事業480千円
	720,000	720,000	0	720,000	生活支援推進事業(60千円×12ヶ月)
	206,000	206,000	0	206,000	河川環境づくり交付金
	160,000	172,000	12,000	172,000	越前市福祉推進員対策事業:社会福祉協議会
	60,000	60,000	0	60,000	青少年健全育成
	50,000	50,000	0	50,000	介護予防事業
	0	2,500,000	2,500,000	2,500,000	コミュニティ助成事業補助金
地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	0	2,700,000	
地域福祉活動協力金	166,000	154,000	-12,000	154,685	各町内より
市委託金	200,000	200,000	0	200,000	市合宿通学事業委託料
事業収入	300,000	359,000	59,000	358,200	夏まつり売上、事業参加費
雑収入	150,000	96,000	-54,000	95,309	貯金利息、コピー代、寄付
合計	10,652,934	12,936,934	2,284,000	12,936,128	

支出の部

【基礎事業】

単位:円

事業名	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額	備考
事務局					
一般防犯灯電気料金補助	121,000	114,000	-7,000	114,000	一般防犯灯電気料交付金
狭隘道路除雪事業	221,000	0	-221,000	0	狭隘道路除雪交付金
町内整備事業	450,000	150,000	-300,000	150,000	セミハード事業(3町内)
LED防犯灯設置事業	1,000	18,000	17,000	18,000	LED設置事業交付金(新設5・交換1)
事務局運営事業	1,700,000	1,740,000	40,000	1,733,327	会議費・役務費・消耗品費・備品費・リース料・印刷製本費・保険料・負担金 他
コミュニティ助成事業	0	2,560,000	2,560,000	2,559,400	会議用机、いす、音響設備
しらやまPR事業	100,000	615,000	515,000	614,942	しらやまファンクラブ等、チラシ、パンフレット、カレンダー作成、地区内案内看板新設・修繕
小計	2,593,000	5,197,000	2,604,000	5,189,669	
基礎事業合計	2,593,000	5,197,000	2,604,000	5,189,669	

事業名	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額	備考
ふるさとふれあい部					
地区内外交流の促進	720,000	935,000	215,000	934,307	しらやま夏まつり
	420,000	312,000	-108,000	311,278	文化祭
	370,000	0	-370,000	0	太陽の広場さくら祭り
	150,000	0	-150,000	0	さぎ草展
	350,000	351,000	1,000	350,750	金華山収穫祭
	50,000	19,000	-31,000	19,000	しらやま冬ものがたり
地区の歴史文化を継承	10,000	4,000	-6,000	4,000	郷土の歴史・芸能・文化の伝承事業
小計	2,070,000	1,621,000	-449,000	1,619,335	
福祉健康部					
学習と体験を通じた健康増進	80,000	84,000	4,000	83,289	健康ウォーク
	70,000	56,000	-14,000	55,828	健康まつり
	20,000	6,000	-14,000	5,390	健康21学習
	30,000	22,000	-8,000	21,946	生活習慣病予防食の推進(食生活改善推進委員会)
	20,000	18,000	-2,000	18,000	はつらつ教室(運動普及推進委員会)
高齢者が活躍する地域の創生	310,000	368,000	58,000	367,345	敬老会
	40,000	40,000	0	40,000	いきいきサロン10団体
	10,000	10,000	0	9,149	認知症講演会
	80,000	74,000	-6,000	73,001	独居老人の配食サービス4回
	40,000	24,000	-16,000	24,000	友愛訪問、施設慰問(日赤奉仕団)
	126,000	132,000	6,000	132,000	福祉推進員活動費22名
	720,000	735,000	15,000	734,004	生活支援推進事業
	50,000	51,000	1,000	50,720	介護予防教室
80,000	10,000	-70,000	9,064	災害時要支援者対応:マップ作成 他	
地区住民の体力増進	530,000	482,000	-48,000	481,596	地区体育祭、スポ協たより(スポーツ協会)
	22,000	37,000	15,000	36,216	各種大会(秋・冬)、西部地区負担金
	150,000	81,000	-69,000	80,692	市民体育大会
小計	2,378,000	2,230,000	-148,000	2,222,240	
しらやまっこ育成部					
青少年の健全育成	50,000	38,000	-12,000	37,199	しらやまっこ広場、子供会活動支援
	300,000	268,000	-32,000	267,471	合宿通学
	45,000	42,000	-3,000	41,360	タイムカプセル(小学6年生)
	20,000	20,000	0	20,000	スポーツ少年団活動支援
	10,000	19,000	9,000	18,810	一行詩
	60,000	40,000	-20,000	39,700	卒業記念品(こども園、小・中学校)、PTA永年活動表彰
	100,000	0	-100,000	0	地区間交流活動「ようこそ白山」
児童福祉の充実	10,000	7,000	-3,000	6,881	子育て広場(未就学児親子活動)
	100,000	103,000	3,000	102,178	学童クラブ支援
	60,000	45,000	-15,000	44,258	子ども教室活動
青年活動の推進	200,000	123,000	-77,000	122,678	はたちの旅立ち
小計	955,000	705,000	-250,000	700,535	

事業名	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額	備考
安全防災部					
交通安全・防災・防犯・防火活動の強化及び各町内間の連携の強化	70,000	70,000	0	70,000	交通安全指導・イベント時の交通整理(安全協会)
	70,000	100,000	30,000	99,124	防災訓練、防災機器管理
	50,000	2,000	-48,000	1,950	防犯看板修繕・設置
	150,000	150,000	0	150,000	地区内パトロール・イベント時の雑踏警備(防犯隊)
	60,000	60,000	0	60,000	子ども安全見守り
	30,000	8,000	-22,000	7,517	防犯防災出前講座
小計	430,000	390,000	-40,000	388,591	
広報部					
効率的な地域情報の発信	50,000	34,000	-16,000	33,228	地区広報紙発行
	50,000	0	-50,000	0	地域イベント外国語版チラシ作製
	162,000	32,000	-130,000	31,152	ドローン町内PR動画作成
	120,000	136,000	16,000	135,098	HP管理(更新作業)
	216,000	219,000	3,000	218,450	SATOYAMAスタジオ運営
小計	598,000	421,000	-177,000	417,928	
自然環境部					
継続的な自然環境の保全	15,000	4,000	-11,000	3,718	環境パトロール
	30,000	3,000	-27,000	2,475	外来種駆除活動
	215,000	130,000	-85,000	130,000	里山里整備(天城山45千、西部広域林道45千、解雷ヶ清水20千、勝蓮花の滝20千)
	50,000	15,000	-35,000	14,040	河川環境美化活動
自然体験を通じた自然との共生	50,000	69,000	19,000	68,200	自然体験・環境学習
	300,000	551,000	251,000	550,815	間伐材活用:丸太小屋づくり
生活環境美化の推進	80,000	91,000	11,000	90,780	公民館周辺清掃作業(老人クラブ)
	60,000	58,000	-2,000	57,633	住民参加の花壇づくり(さぎ草公園、3町内)
	35,000	26,000	-9,000	25,073	花いっぱい運動(プランター)
小計	835,000	947,000	112,000	942,734	
協働事業合計	7,266,000	6,314,000	-952,000	6,291,363	

【特別事業】

単位:円

事業名	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額	備考
しらやまっ子 多文化を学ぶ	150,000	64,000	-86,000	63,320	報償費:学ぶ事業・交流事業指導者謝礼
	160,000	211,000	51,000	210,436	需用費:消耗品、材料、印刷製本
	60,000	27,000	-33,000	27,000	借上料:臼・杵他
	200,000	300,000	100,000	300,000	備品購入費:カラー複合機
	30,000	3,000	-27,000	2,079	役務費:切手・ハガキ
特別事業合計	600,000	605,000	5,000	602,835	

全会計集計の部

[収入合計]

単位:円

項目	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額	
前年度繰越金 ②	1,106,934	1,106,934	0	1,106,934	
市交付金	6,030,000	8,321,000	2,291,000	8,321,000	
自己財源	地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	0	2,700,000
	地域福祉活動協力金	166,000	154,000	-12,000	154,685
	事業収入	300,000	359,000	59,000	358,200
	雑収入	150,000	96,000	-54,000	95,309
	小計 ③	3,316,000	3,309,000	-7,000	3,308,194
市委託金	200,000	200,000	0	200,000	
合計 ①	10,652,934	12,936,934	2,284,000	12,936,128	

[支出合計]

事業集計	2019年度予算額	2019年度補正後額	増減	決算額
基礎事業	2,593,000	5,197,000	2,604,000	5,189,669
協働事業	7,266,000	6,314,000	-952,000	6,291,363
特別事業	600,000	605,000	5,000	602,835
合計	10,459,000	12,116,000	1,657,000	12,083,867
予備費	193,934	820,934	627,000	852,261
総合計	10,652,934	12,936,934	2,284,000	12,936,128

自己財源率

27.97%

自己財源比率は20%以上

③ / (① - ②) × 100

収入済額

12,936,128

-

支出済額

12,083,867

=

(次年度 繰越金)

852,261

監 査 報 告 書

下記の事項に関して、監査を実施いたしましたので報告いたします。

記

1. 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの しらやま振興会事業実施に当たり、各事業が適正に評価されたか。
2. 各事業にあたり、事業計画・請求書・領収書等付属書類が適正に整備されているか。
3. 事業費の入金及び出金は、所定の手続きを得て処理されているか。
4. 印章・預金通帳及び関係会計諸帳簿の記載及び保管は適正にされているか。
5. 各諸帳簿の決済手続きは、適正になされているか。
6. 備品購入後、備品台帳に記載し備品管理を適正に行っているか。
7. その他受付文書・発送文書の諸手続き及び会議録等自治振興会運営における関係書類の保管は、適正になされているか。

以上の項目に関して、監査を実施いたしました。

令和2年4月16日

監 事

奥野 宏樹 

監 事

西田 さち子 

以上

意 見 書

監 事

奥野 宏樹 

監 事

西田 さち子 

令和2年4月16日 しらやま振興会の事業運営並びに、会計監査を実施いたしましたので、それに関する意見書は下記のとおりです。

記

1. 平成31年4月1日から令和2年3月31日までの しらやま振興会事業実施に当たり、各事業が適正に実施されていた。
2. 各事業にあたり、事業計画・請求書・領収書等付属書類が適正に整備されていた。
3. 事業費の入金及び出金は、所定の手続きを得て処理されていた。
4. 印章・預金通帳及び関係会計諸帳簿の記載及び保管は適正になされていた。
5. 各諸帳簿の記載及び保管は、適正になされていた。
6. 備品台帳の記載及び保管は適正になされていた。
7. その他受付文書・発送文書の諸手続き及び会議録等自治振興会運営における関係書類は、適正になされていた。
8. 預金通帳の残高は、預金通帳と元帳と一致していた。

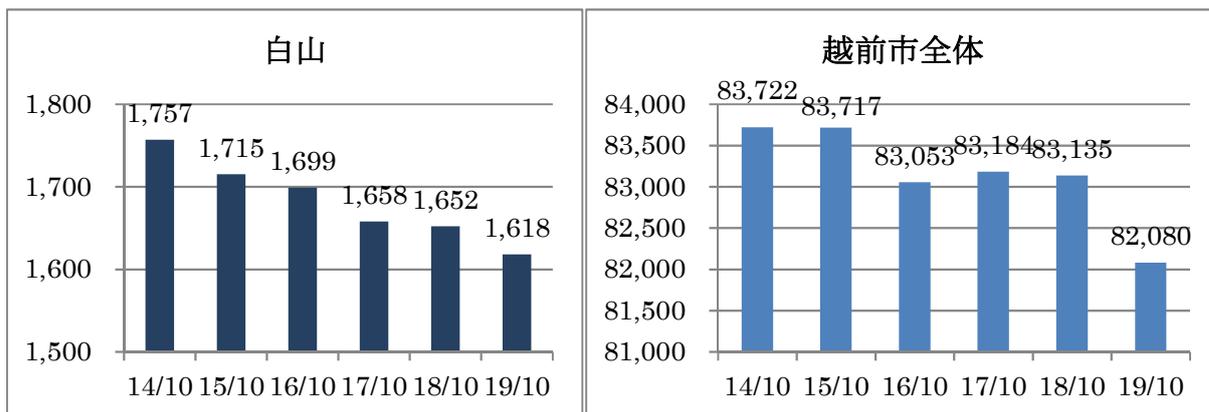
以上

2019年度 役員

会 長	坂井 諭一			
副会長	岡田 健二	横山 一衛	稲葉 多津子	下野 由美子
専門部長	瀧見 尚是	石田 正秀	宇都宮 昌江	加藤 智也
	大関 克豊	宮崎 知聡	前田 利博	
専門副部長	谷口 文章	北野 多喜子	下野 育代	小原 信二
	仮屋 進	酒井 和則	下野 由美子	
事務局次長 (専門部事務局)	永当 昭博	大西 藤夫	清水 智子	畠 広文
	恒本 納	小林 忠之	橋本 弥登志	
専門部会計	野口 千治	上野 ゆみ子	上杉 民子	奥田 美幸
	大西 嘉和	塚崎 絹子	中西 一治	
事務局長	橋本 弥登志			
副事務局長	前田 利博	酒井 和則		
会計責任者	中西 一治			
参 与	表 利右衛門			
監 事	奥野 宏樹	西田 さちこ		
顧 問	向嶋 衛			

〈全体として〉

- 当地区は、緑と水に恵まれ、全国4箇所の「里地里山保全再生モデル事業」の実施地域に指定され、「日本の里山100選」にも選ばれているなど、懐かしい日本の原風景が保全されている地区です。しかし、少子高齢化が進み、若年層を中心として地区外への流出が進んでいます。
- 2014年(H26)年から2019年(H31)の5年間において139人、約7.9%の減少で、市内17地区において服間地区(約8.5%減)に次いで減少率です。市全体の減少率は約2.0%です。子育て世代を中心として、白山地区から他地区への転居が多い状況です。



- 公民館周辺の美化活動、各集落でのサロン活動など、いきいきシニアクラブ(老人クラブ会員数300余名)が活発に活動しています。
- 近年、事業が多すぎる、役員が大変だという声が上がることがありますが、具体的に何の事業が負担なのか、お祭りイベントが多いのかなどの議論がありません。事業に対する無理解なのか、社会的無理解なのか議論がないところです。
- 振興会発足以前から各種団体が取り組んできたことを毎年精査し、取り組んできているところですが、不足している議論は事業を行いながら補い、地区民の納得のいく事業にしていく必要があります。
- 特徴のある事業・取り組みも多くありますが、事業のスクラップアンドビルドを進めます。何のためにやるのか、その目的は今の時代に合ったもので賞味期限切れしてないかなど、点検を行います。
- 後継者が育っているかという視点からも事業を行うことが重要です。振興会を実際に動かすスタッフの中に、次世代を担うことを期待される方々(40~50才代)が、どれだけ関わっているのかを意識しながら事業を進めます。
特に、一昨年度取り組んだ「しらやま青年、大志を抱く事業」に関わった青年層を中心とした若者が各部イベントに参画しており、本年度も後継者育成に取り組みます。
- 2015年に武生第5中学校生徒が取り組んだ「白山を元気にするためには何が必要か」という注目すべき授業実践報告があります。
この中で、地区内外の人の交流、豊かな自然環境を背景とした農産物のブランド化、健康・長寿への取り組み、子育て施策の充実、地区での仕事づくりが大切という報告があります。

まさしく、現在、当会が継続して取り組んでいる事業です。

この当時の中学生の5割近くが、住みたいと感じている白山をさらに元気にするため、継続した取り組みが重要です。

- このように当地区には、強みもあれば弱みもあります。強みを活かし、弱みを克服する取り組みが求められています。先人が残してくれた山干飯の里を、今度は、私たちが自分の子供や孫たちに残していかなければなりません。
- 当会は、地域全体の運営に関わる合意形成と計画づくりそして実践を行う自治組織です。集落ごと、分野ごとに細切れにされている多種多様な需要や資源をまとめ、新たな持続性・収益性を生み出す事業や仕組みづくりの展開を担う組織です。当会には、定住と循環を支える複合的な組織・人材・拠点・ネットワークの仕組みづくりが求められています。
- これまで取り組んできたエコ・グリーンツーリズム事業については、推進団体「水の里しらやま」を発足させ、6年が経過し、事業収入が大きく伸びるなど、順調に推移しています。この取り組みが前述した新たな持続性・収益性を生み出す事業組織の一例です。ここでは、弁当販売などの収益事業で利益を上げるとともに、空き家を活用した福井ふるさと茶屋事業「白山さんち」が2019年6月から毎週土、日曜のランチ、地元産の農産物販売など本格営業となり、多くの方が訪れております。地区内外の人々との交流と協働により、さらなる事業展開が期待でき、当会としても、連携した取り組みを行います。
- このように、複合的な自治・事業を取組むには、マネジメント人材の育成・配置が肝要です。単独分野、組織や集落ごとの個別最適でなく、分野を横断した全体最適を設計・運営できる地域マネージャー的人材の育成・配置が大きなカギを握ることになります。
- 市の要請のもと、平成28年度途中から、国の介護予防制度の大きな変更でもある住民主体の日常生活支援推進総合事業（地域支え合い推進事業）に取り組んでいます。介護予防・日常生活支援総合事業における訪問型住民サービスB型【サポートしらやま】が平成29年11月2日からサービスを開始しています。

しかし、この組織を支える支援員が不足している事や、集落ごとの町内福祉連絡会、地区福祉ネットワーク会議とうまく連動していないこともあるため、越前市地域福祉計画に基づき、地域福祉の取組を進めます。

- 当会は、前述したことをしっかり踏まえ、平成30年度に改定した自治振興計画に基づき、令和2年度事業計画を事務局、各専門部において取り組みます。
新型コロナウイルスにより、地域全体での取り組みが制限されることとなりますが、これらの未知との戦いに打ち勝つためにも、これまで以上に地域全体で支える地域づくりを推進します。とりわけ、人口減少とどう向き合っていくのか議論し、持続可能な地域づくりに向けて地域の皆様と共に取組を進めてまいります。
- 今年度の特別事業は『ともに生きるOne Teamしらやま事業』です。

事業の目的

越前市が策定した「ともに生きる福祉でまちづくり」を基本理念とした、「共に生きるOne Teamしらやま」を目指す。

事業内容

(1) 見守り、支え合う事業

- ア つどいの充実と全集落におけるつどいの支援
- イ 地域のニーズと気がかりな世帯の把握の推進
- ウ 独居老人等の見守り活動の充実
- エ 見守り活動の拠点及び寄合所（居場所）の整備

(2) 地域福祉の課題解決事業

- ア 担い手の発掘と育成
- イ 地区福祉ネットワーク会議の充実
- ウ 地域福祉推進団体の設立（（仮称）地区福祉支援協議会）

実施計画（時期・事業内容・参加者数）

実施時期	事業内容
令和2年7月	1 地区内福祉関係団体、民生委員、区長、福祉推進員打合せ 2 研修「地域福祉計画について」 3 年間計画の協議
令和2年7月 ～ 令和3年2月	1 見守り、支え合う事業 (1) つどいの充実と全集落におけるつどい実施の支援 (2) 地域のニーズと気がかりな世帯の把握の推進 (3) 独居老人等の見守り活動の充実 (4) 見守り活動の拠点及び寄合所（居場所）の整備 2 地域福祉の課題解決事業 (1) 担い手の発掘と育成 (2) 地区福祉ネットワーク会議の充実 (3) 地域福祉推進団体の設立

越前市採択通知書添付



しらやま振興会

会長 坂井 諭一 様

越前市長 奈良 俊幸



令和2年度地域自治振興事業（特別事業）採択通知書

みだしのことについて、下記のとおり採択したので通知します。

記

1 審査結果

事業名	「ともに生きる one team しらやま事業」						
補助金内示額	金 517,000 円						
審査員による 評価	I 公益性 ・ニーズ	II 協働 性	III 計画性・実 現可能性	IV 発展性 ・継続性	V 独創性 ・先駆性	VI 課題解 決性	合計
	85.7%	77.1%	77.1%	80.0%	74.3%	68.6%	77.1%
審査員の 意見	<ul style="list-style-type: none"> ・めざすところはこれからの地域にとって極めて重要で、公益性が高いのだが、「いかににより多く、多様な人の参画を促すか」、手法に更なる工夫があると良いかと思われる。 ・各地域が支え合い推進員をリーダーとして地域福祉に取り組んでいるところだと思われる。 ・白山地区がその歴史、風土の魅力を他の地域に情報発信し、地区の郷土愛を育み、人々が支え合う体制を構築することで吸引力を高めることにつながる事業として今後が期待できる。 ・地域福祉の向上事業は非常に現実的である。市委託事業との重複について要検討。 ・高齢者だけではなく、社会的弱者も含めた幅広い対象者の支援としており、身近で目が届く住民同士の支え合いによる事業として大変期待が持てる。 ・なかなか難しい事業である。白山地区ならではの発想で、一体的にいくなら理解できる。 ・前向きに取り組んでいただくこと、実行こそが大切と思い、評価させていただいた。 						

2 その他

- (1) 採択事業について、ガイドラインにより特別事業実施計画書（様式特2）、（事務システムで出力される個別計画書を添付）と議決証明した理事会の資料を各地区自治振興会の理事会での承認後に提出してください。
- (2) 地域自治振興事業交付金の決定は、計画書提出後に通知します。

《問合せ先》

越前市 総務部 市民協働課 中村

TEL : 0778 - 22 - 3293/FAX : 0778 - 22 - 7497

eメール : nakamura-ks@city.echizen.lg.jp

しらやま自治振興計画書

1. 計画の期間

2019年度から2021年度（3カ年間）

2. 地区の現状（地域の地理的条件や生活環境などの特色や自治振興事業を開始して変化したこと、しなかったことなど）

- 1) 若い世代の流出が続くなど、依然として人口が減少し、少子高齢化が進行し、一人暮らし高齢者世帯の増加が進んでいる一方、元気な高齢者と共に、幅広い年代が各種団体、各種活動において活躍している。
- 2) 自然環境保全を重視した農林業を継続的に行ってきたことにより、豊かな里山景観が保持されているが、農林業人口が減少し、耕作放棄地の増加、鳥獣被害の拡大などもあり、農林業の衰退が懸念されている。
- 3) 希少な野生生物が生息している自然環境を保全再生する取り組みを数多く行っているが、地域全体への実感できる波及効果がみえていない。
- 4) 振興会発足15年を超え、振興会活動は地区民への定着も図られつつあるが、課題も残されている。しかし、発足当初から、女性役員の割合が市の目標である40%を超えており、地域活動への女性の進出が定着してきている。

3. 地区の課題（地区が今後改善していくべき課題とその理由を代表的ないくつか）

- 1) 人口減少に歯止めをかけ、魅力ある地区を作る。
- 2) 豊かな自然環境を活かし、住民が生き生きと暮らせる地区を作る。
- 3) 住民自らが課題解決に向け、行政、各種団体等と協働し、企画・実行する体制を強化する。
- 4) 豊かな自然環境を背景とし、移住交流の拡大を図る。

4. 地区の将来像（地区が将来どうなることを望んでいるか、何に向かって前進するかなど）

- 1) 希少な野生生物が生息している自然環境を保全再生しながら、多様な人々が参加、定住し、活躍したくなるような地区を目指す。
- 2) 子ども達を地域全体で見守り育てる環境を作り、健全なしらやまっ子育成を図る。
- 3) 地区民が、積極的に参加したくなるような事業を企画し、地区内交流を促進する。
- 4) 福井国体を契機に健康づくりを促進し、住民が健康で心豊かに暮らせる地区を目指す。
- 5) 地区の実情に即した交通安全、防災、防犯、防火体制を確立し、自助共助の精神を重んじ、安全安心地区を目指す。
- 6) 情報をわかりやすく提供するとともに、SNS等を活用し、地区内外に活動情報等を発信し、「しらやま」を広く宣伝する。

5. 地区の目標（地区の今後3年間のキャッチフレーズ、又は各部の重点目標）

【水と緑に恵まれ、自然豊かな里地里山に囲まれたいきいきしらやま】

6. 地区の基本方針（今後3年間に、重点を置く事業のテーマ・実施内容など）

別紙 しらやま自治振興計画体系表の『地区の基本方針』のとおり

7. 事業実施計画

- (1) 白山地区地域自治振興計画体系表（2019年度から2021年度）
- (2) 白山地区自治振興会年度別個別事業（各年度作成）

しらやま自治振興計画体系表 (1~3)

地区のキャッチフレーズ

【水と緑に恵まれ、自然豊かな里地里山に囲まれたいきいきしらやま】

担当部	地区の将来像	地区の基本方針	実現するための事業	実施年度					
				1	2	3			
ふるさとふれあい部	地区民が積極的に参加したくなるような事業を企画し、多文化共生を推進するとともに、地区内外交流を促進する。	地区内外交流の促進	しらやま夏まつり	○	○	○			
			白山地区総合文化祭	○	○	○			
			太陽の広場桜まつり	○	○	○			
			さぎ草展	○	○	○			
			金華山収穫祭	○	○	○			
			しらやま冬ものがたり	○	○	○			
福祉健康部	福井国体を契機に健康づくりを促進し、住民が健康で心豊かに暮らしていける地区を目指す。	学習と体験を通じた健康増進	健康ウォーク	○	○	○			
			健康まつり	○	○	○			
			健康21学習（気軽にできる健康への取組み）	○	○	○			
			生活習慣病予防の普及啓発	○	○	○			
			はつらつ教室	○	○	○			
			敬老会	○	○	○			
		高齢者が活躍する地域の創生	いきいきサロン支援事業	○	○	○			
			認知症地域助け合い事業（認知症徘徊訓練 他）	○	○	○			
			配食サービス（年4回）	○	○	○			
			友愛訪問・施設慰問活動	○	○	○			
			福祉推進員対策事業	○	○	○			
			生活支援推進事業	○	○	○			
		地区住民の体力増進	介護予防教室	○	○	○			
			災害時要支援者対応（マップ作成 他）	○	○				
			地区体育祭、体協だより発行	○	○	○			
			各種大会、西部地区体育振興球技大会	○	○	○			
			市民大会選手育成	○	○	○			
			青少年の健全育成	白山っ子広場（子ども会活動支援）	○	○	○		
しらやまっ子育成部	子ども達を地域全体で見守り育てる環境を作り、健全なしらやまっ子育成を図る。	青少年の健全育成	合宿通学	○	○	○			
			タイムカプセル（小学校、20歳、30歳）	○	○	○			
			スポーツ少年団活動支援	○	○	○			
			一行詩（中学校）	○	○	○			
			卒業記念品贈呈（こども園・小学校・中学校）	○	○	○			
			地区間交流活動（ようこそ白山）	○	○	○			
		児童福祉の充実	子育て広場（未就学児親子対象）	○	○	○			
			学童クラブ支援	○	○	○			
			未就学児親子活動（かたかたCafé）、子ども教室活動	○	○	○			
			青年活動の推進	新成人のつどい（はたちの旅立ち）、青年グループ活動支援	○	○	○		
			安全防災部	地区の実情に即した交通安全・防災・防犯・防火体制を確立し、自助共助の精神を重んじ、安全安心地区を目指す。	交通安全・防災・防犯・防火活動の強化及び各町内間の連携の強化	交通安全推進活動・イベント時交通整理	○	○	○
						防災訓練、防災機器管理	○	○	○
防犯看板維持点検	○	○				○			
地区内防犯パトロール	○	○				○			
子ども安全見守り（登下校時、部活動終了後）活動	○	○				○			
防犯防災教室	○	○				○			
広報部	情報をわかりやすく提供するとともに、SNS等を活用し、地区内外に活動情報等を発信し、「しらやま」を広く宣伝する。	効率的な地域情報の発信	地区広報誌「山干飯の里しらやま」発行	○	○	○			
			地域イベント外国語版チラシ作製	○	○	○			
			ドローン町内PR動画作成	○	○	○			
			H P 管理（更新作業）	○	○	○			
			S A T O Y A M A スタジオ	○	○	○			
自然環境部	希少な野生生物が生息している自然環境を保全再生しながら、多様な人々が参加、定住し、活躍したくなるような地区を目指す。	継続的な自然環境の保全	環境パトロール	○	○	○			
			外来種駆除活動	○	○	○			
			河川環境美化活動（河川一斉清掃）	○	○	○			
			里山里水整備（若須岳、天城山、西武広域道、解雷ヶ清水、勝蓮花の滝）	○	○	○			
		自然体験を通じた自然との共生	生き物調査・自然体験・環境学習	○	○	○			
			間伐材活用	○	○				
			生活環境美化の推進	白山公民館周辺清掃	○	○	○		
				住民参加花壇づくり（さぎ草公園・各町内）	○	○	○		
施設運営部	施設の設置目的の達成と地域特性を活かした活動拠点施設として活用する。	公の施設の適切な管理	みどり自然の村管理	○	○	○			
			いこい館指定管理	○	○	○			
事務局	水と緑に恵まれ、自然豊かな里地里山に囲まれたいきいきしらやまを創る。	効率的な地区内外との連絡調整	自治振興会運営	○	○	○			
			しらやまPR	しらやまカレンダー作成、PRパンフ、しらやまファンクラブ 他	○	○	○		

2020(令和2)年度予算

● 一般会計

収入の部

【基礎事業・協働事業・特別事業】

単位:円

項目	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	増減	備考
繰越金	852,261	1,106,934	1,106,934	-254,673	前年度繰越金
市交付金	4,855,000	4,834,000	4,613,000	21,000	基礎事業2,074千円(一般防犯灯電気料交付金額121千円、 狭隘道路除雪交付金額221千円、社会教育講座事業140千円含む) 協働事業 2,264千円 特別事業517千円
	0	206,000	206,000	-206,000	河川環境づくり交付金(河川一斉清掃中止のため)
	172,000	160,000	172,000	12,000	越前市福祉推進員対策事業:社会福祉協議会
	60,000	60,000	60,000	0	青少年健全育成
	50,000	50,000	50,000	0	介護予防事業
補助金	1,500,000	0	0	1,500,000	小型除雪機購入補助金
	0	0	2,500,000	0	コミュニティ助成事業補助金
市委託金	0	200,000	200,000	-200,000	市合宿通学事業委託料(合宿通学中止のため)
	720,000	720,000	720,000	0	生活支援推進事業(60千円×12ヶ月)
地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	2,700,000	0	
地域福祉活動協力金	150,000	166,000	154,000	-16,000	各町内より
事業収入	10,000	300,000	359,000	-290,000	事業参加費
雑収入	100,000	150,000	96,000	-50,000	貯金利息、コピー代、寄付
合計	11,169,261	10,652,934	12,936,934	516,327	

支出の部

【基礎事業】

単位:円

事業名	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	増減	備考
事務局					
一般防犯灯電気料金補助	121,000	121,000	114,000	0	一般防犯灯電気料交付金
狭隘道路除雪事業	221,000	221,000	0	0	狭隘道路除雪交付金
町内整備事業	450,000	450,000	150,000	0	セミハード事業(3町内)
LED防犯灯設置事業	12,000	1,000	18,000	11,000	LED設置事業交付金(新設5・交換1)
事務局運営事業	1,300,000	1,700,000	1,740,000	-400,000	会議費・役務費・消耗品費・備品費・リース料・印刷製本費・ 保険料・負担金 他
小型除雪機購入補助事業	2,200,000	0	0	2,200,000	小型除雪機購入
コミュニティ助成事業	0	0	2,560,000	0	会議用机、いす、音響設備
しらやまPR事業	500,000	100,000	615,000	400,000	しらやまファンクラブ等、チラシ、パンフレット、カレンダー作成、 地区内案内看板新設・修繕
小計	4,804,000	2,593,000	5,197,000	2,211,000	
基礎事業合計	4,804,000	2,593,000	5,197,000	2,211,000	

事業名	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	増減	備考
ふるさとふれあい部					
地区内外交流の促進	0	720,000	935,000	-720,000	しらやま夏まつり(中止)
	350,000	420,000	312,000	-70,000	文化祭
	0	370,000	0	-370,000	太陽の広場さくら祭り
	0	150,000	0	-150,000	さぎ草展(中止)
	350,000	350,000	351,000	0	金華山収穫祭
	50,000	50,000	19,000	0	しらやま冬ものがたり
地区の歴史文化を継承	10,000	10,000	4,000	0	郷土の歴史・芸能・文化の伝承事業
小計	760,000	2,070,000	1,621,000	-1,310,000	
福祉健康部					
学習と体験を通じた健康増進	15,000	80,000	84,000	-65,000	健康ウォーク
	70,000	70,000	56,000	0	健康まつり
	30,000	20,000	6,000	10,000	健康21学習(布マスクづくり講座)
	20,000	30,000	22,000	-10,000	生活習慣病予防食の推進(食生活改善推進委員会)
	20,000	20,000	18,000	0	はつらつ教室(運動普及推進委員会)
高齢者が活躍する地域の創生	380,000	310,000	368,000	70,000	敬老会
	40,000	40,000	40,000	0	いきいきサロン10団体
	10,000	10,000	10,000	0	認知症地域助け合い事業
	80,000	80,000	74,000	0	独居老人の配食サービス4回
	30,000	40,000	24,000	-10,000	友愛訪問・施設慰問(日赤奉仕団)
	132,000	126,000	132,000	6,000	福祉推進員対策事業
	720,000	720,000	735,000	0	生活支援推進事業
	50,000	50,000	51,000	0	介護予防教室
10,000	80,000	10,000	-70,000	災害時要支援者対応:緊急時連絡表更新	
地区住民の体力増進	150,000	530,000	482,000	-380,000	地区体育祭(中止)、スポ協たより
	22,000	22,000	37,000	0	各種大会(秋・冬)、西部地区負担金
	50,000	150,000	81,000	-100,000	市民体育大会(夏:中止)
小計	1,829,000	2,378,000	2,230,000	-549,000	
しらやまっこ育成部					
青少年の健全育成	50,000	50,000	38,000	0	しらやまっこ広場、子供会活動支援
	0	300,000	268,000	-300,000	合宿通学
	45,000	45,000	42,000	0	タイムカプセル(小学6年生、20歳、30歳)
	20,000	20,000	20,000	0	スポーツ少年団活動支援
	10,000	10,000	19,000	0	一行詩
	60,000	60,000	40,000	0	卒業記念品(こども園、小・中学校)、PTA永年活動表彰
	100,000	100,000	0	0	地区間交流活動「ようこそ白山」
児童福祉の充実	10,000	10,000	7,000	0	子育て広場(未就学児親子活動)
	100,000	100,000	103,000	0	学童クラブ支援
	50,000	60,000	45,000	-10,000	子ども教室活動
青年活動の推進	150,000	200,000	123,000	-50,000	はたちの旅立ち、30歳の自分への手紙
小計	595,000	955,000	705,000	-360,000	

事業名	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	増減	備考
安全防災部					
交通安全・防災・防犯・防火活動の強化及び各町内間の連携の強化	70,000	70,000	70,000	0	交通安全指導・イベント時の交通整理(安全協会)
	150,000	70,000	100,000	80,000	防災訓練・講習会、防災機器管理
	50,000	50,000	2,000	0	防犯看板修繕・設置
	150,000	150,000	150,000	0	地区内パトロール・イベント時の雑踏警備(防犯隊)
	60,000	60,000	60,000	0	子ども安全見守り
	20,000	30,000	8,000	-10,000	防犯防災出前講座
小計	500,000	430,000	390,000	70,000	
広報部					
効率的な地域情報の発信	400,000	50,000	34,000	350,000	地区広報紙発行(印刷、配布、用紙 他)
	10,000	50,000	0	-40,000	地域イベント外国語版チラシ作成
	10,000	162,000	32,000	-152,000	ドローン町内PR動画作成
	140,000	120,000	136,000	20,000	HP管理(更新作業)
	220,000	216,000	219,000	4,000	SATOYAMAスタジオ運営
小計	780,000	598,000	421,000	182,000	
自然環境部					
継続的な自然環境の保全	10,000	15,000	4,000	-5,000	環境パトロール
	10,000	30,000	3,000	-20,000	外来種駆除活動
	345,000	215,000	130,000	130,000	里山里水整備(若須岳170千、天城山90千、西部広域林道45千、解雷ヶ清水20千、勝蓮花の滝20千)
	20,000	50,000	15,000	-30,000	河川環境美化活動
自然体験を通じた自然との共生	80,000	50,000	69,000	30,000	生き物調査・自然体験・環境学習
	10,000	300,000	551,000	-290,000	間伐材活用:丸太小屋づくり
生活環境美化の推進	100,000	80,000	91,000	20,000	公民館周辺清掃作業(老人クラブ)
	80,000	60,000	58,000	20,000	住民参加の花壇づくり(各町内30千、さぎ草公園50千)
	35,000	35,000	26,000	0	花いっぱい運動
小計	690,000	835,000	947,000	-145,000	
協働事業合計	5,154,000	7,266,000	6,314,000	-2,112,000	

【特別事業】

単位:円

事業名	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	増減	備考
ともに生きる one team しらやま	200,000	150,000	64,000	50,000	報償費(講師謝礼、寄合所製作謝礼)
	100,000	160,000	211,000	-60,000	需用費(消耗品)
	350,000	0	0	350,000	旅費(バス借上 他)
	300,000	0	0	300,000	委託料(寄合所建築)
	50,000	30,000	3,000	20,000	役務費(切手、はがき)
	0	60,000	27,000	-60,000	借上料
	0	200,000	300,000	-200,000	備品購入費
特別事業合計	1,000,000	600,000	605,000	400,000	

全会計集計の部

[収入合計]

単位:円

項目	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	比較	
前年度繰越金 ②	852,261	1,106,934	1,106,934	-254,673	
市交付金	5,137,000	5,310,000	5,101,000	-173,000	
自己財源	地区区長会交付金	2,700,000	2,700,000	2,700,000	0
	地域福祉活動協力金	150,000	166,000	154,000	-16,000
	事業収入	10,000	300,000	359,000	-290,000
	雑収入	100,000	150,000	96,000	-50,000
	小計 ③	2,960,000	3,316,000	3,309,000	-356,000
補助金	1,500,000	0	2,500,000	1,500,000	
市委託金	720,000	920,000	920,000	-200,000	
合計 ①	11,169,261	10,652,934	12,936,934	516,327	

[支出合計]

事業集計	2020年度予算額	2019年度当初予算額	2019年度補正予算額	比較
基礎事業	4,804,000	2,593,000	5,197,000	2,211,000
協働事業	5,154,000	7,266,000	6,314,000	-2,112,000
特別事業	1,000,000	600,000	605,000	400,000
合計	10,958,000	10,459,000	12,116,000	499,000
予備費	211,261	193,934	820,934	17,327
総合計	11,169,261	10,652,934	12,936,934	516,327

自己財源率 28.69% 自己財源比率は20%以上

③/(①-②)×100

第3号議案

役員を選出

会 長	岡山 秀昭			
副会長	滝見 俊行	大西 藤夫	岡田 洋子	橋本 君代
専門部長	瀧見 尚是	宇都宮 昌江	加藤 智也	下野 勝美
	酒井 和則	石田 正秀	橋本 弥登志	
専門副部長	清水 淳雄	下野 育代	小原 信二	西谷 秀雄
	坂下 在良	北野 多喜子	横山 一衛	
事務局次長 (専門部事務局)	谷口 文章	清水 智子	畠 広文	後 琢巳
	小林 忠文	上出 修	前田 利博	
専門部会計	野口 千治	上杉 民子	奥田 美幸	横山 幸子
	塚崎 絹子	小林 葉子	窪田 美喜子	
事務局長	前田 利博			
副事務局長	橋本 弥登志	下野 勝美		
会計責任者	坂田 秀毅			
参 与	表 利右衛門			
監 事	向嶋 衛	稲葉 多津子		
顧 問	坂井 諭一			

しらやま振興会会則

(名称)

第1条 本会は、しらやま振興会（以下「本会」という。）という。

(事務所)

第2条 本会の事務所を白山公民館内に置く。
この事務所に事務局員を会長の指名により置くことができる。

(目的)

第3条 本会は、白山地区（以下「地区」という。）住民の相互信頼と協働により、あふれる自然を活かした明るく・住み良いまちづくりを推進する。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 振興計画の策定と推進に関する事業
- (2) 地域の振興と発展に寄与する事業
- (3) 地区内外の交流推進に関する事業
- (4) 自然環境保全に関する事業
- (5) 社会福祉推進に関する事業
- (6) 健康増進、スポーツ振興に関する事業
- (7) 文化、歴史に関する推進事業
- (8) 青少年健全育成に関する事業
- (9) 安全、防犯、防災に関する推進事業
- (10) 各事業の広報に関する事業
- (11) 社会教育講座に関する事業
- (12) その他、目的達成に必要な事業

(組織)

第5条 本会の会員は、地区住民及び本会の目的に賛同する地区内外の個人・各種団体および事業所とする。

2 本会は、年齢、性別、社会的地位を問わず誰もが自由に参加できる。

(役員)

第6条 本会に次の役員をおく。

会 長	1名
副会長	若干名
専門部長	7名
専門部副部長	7名
事務局長	1名
副事務局長	2名
事務局次長（専門部会事務局）	7名
会計責任者	1名
専門部会計	7名
参与	1名
監 事	2名

(役員を選出)

第7条 役員を選出は、男女同数を基本に、次のとおりとする。

- (1) 会長、副会長、事務局長、副事務局長、会計責任者、監事は、会員の中から運営委員会において選出し、総会の承認を受ける。
- (2) 会長は、複数の副会長の会長代理順位を定め、運営委員会の承認を得る。

- (3) 専門部長、副部長、事務局次長、各部会計は、専門部毎に互選し、総会の承認を受ける。
- (4) 事務局次長は専門部事務局をもってあてるものとする。
- (5) 参与は、地区公民館長をもってあてる。

(役員の責務)

第8条 役員は、次のとおりとする。

- (1) 会長は、本会を代表し会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長事故あるときはその職務を代行する。及び担当専門部の事業・計画等に参画する。
- (3) 事務局長、副事務局長、会計責任者、部会会計、専門部会計は、庶務会計の事務処理にあたる。
- (4) 専門部長、副部長は専門部を代表し、専門部を統括する。
- (5) 事務局次長は専門部の事務処理にあたる。
- (6) 監事は、会計、資産の状況及び事業の執行状況を監査し、総会に報告する。
- (7) 参与は、事業実施・計画策定に関する相談及び社会教育講座事業の指導監督を行う。

(役員任期)

第9条 役員任期は2年とし、再任を妨げない。役員の中で欠員が生じたときには、補欠役員の補充を行うことができる。ただし、任期は、前任者の残存期間とする。

(会議)

第10条 本会の会議は、総会、運営委員会、専門部会とする。

(総会)

第11条 総会は、各集落(別表1)、区長会、各種団体、事業所並びに公募による振興委員をもって構成する最高の議決機関であってこの会則に定める事項のほか、この会の目的を達成するために必要な重要事項を決議する。

- 2 定期総会は、会長の招集により毎年1回以上開催する。
- 3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、または振興委員の3分の1以上の要求があったとき、会長の招集により開催する。
- 4 総会は、委任状を認め、振興委員の2分の1以上の出席により成立し、その議事は出席者及び委任状を含めた過半数で議決する。賛否同数の場合は、議長が決するものとする。
- 5 総会は、次の事項を審議する。
 - ① 地域振興計画
 - ② 会則の改正
 - ③ 事業計画及び予算
 - ④ その他運営委員会で必要と認めた事項
- 6 総会には、次の役員をおく
議長1名 書記1名 議事録署名人2名
- 7 議長は、出席委員の中から会長が指名し、出席委員の承認により選出する。
- 8 書記、議事録署名人は、議長が指名する。ただし、議事録署名人は、出席委員の中から選出する。
- 9 議長は、総会の議事進行を行う。
- 10 書記は、総会の議事について、会議の運営状況、発言内容、議事の進行等を記載した議事録を作成し、議長及び議事録署名人2名の署名押印を得なければならない。なお、議事録は、事務局が保管する。

(振興委員)

第12条 振興委員は区長会、各集落、各種団体、事業所、公募より次のとおり選出し、本会に届出、各専門部に所属する。なお任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

- (1) 各集落の振興委員は別表1のとおりとする。
- (2) 各種団体の振興委員は2名以内（原則男女同数）とする。
- (3) 公募による振興委員は定数なしとする。
- (4) 各事業所の振興委員は各1名とする。

(運営委員会)

第13条 運営委員会は、会長、副会長、各専門部長、各専門副部長、事務局長、副事務局長、会計責任者、事務局次長、各専門部会計及び参与をもって構成し、会長が召集し次の事項を審議し、事業を実行する。監事は必要に応じ運営委員会に出席して意見を述べるができる。

- ①本会運営の基本事項
- ②地域振興計画
- ③総会に付議する事項
- ④緊急を要する重要事項
- ⑤ その他必要な事項

(専門部会)

第14条 専門部会は、区長会、各集落（別紙1）、各種団体、公募及び事業所より選出された振興委員をもって構成し、部員の互選により部長1名、副部長1名、事務局1名、会計1名を選出する（男女同数を基本とする）。

- 2 専門部会は、部長が招集し、事業の企画、調整、運営実行を行う。
- 3 専門部会は、次の部とし、その主たる事業は次のとおりとする。

- ① ふるさとふれあい部
地区内の交流推進に関する事業
文化、歴史に関する推進事業
- ② 自然環境部
自然環境保全に関する事業
- ③ 福祉健康部
社会福祉推進、健康増進、スポーツ振興に関する事業
- ④ しらやまっこ育成部
青少年の健全育成に関する事業
- ⑤ 安全防災部
安全、防犯、防災に関する事業
- ⑥ 広報部
広報等に関する事業
広く地区民等から意見を聞く事業
- ⑦ 施設運営部
越前市公の施設に係る指定管理に関する事業

- 4 専門部の事務、会計は各部が本会の事務局と連携を図り行うものとする。

(会計)

第15条 本会の経費は、交付金、助成金、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

- 2 本会の経費は、総会で議決された予算の範囲内において、運営委員会の承認により、用途の変更及び流用をすることができる。
- 3 本会の会計年度は、4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

- 4 既定の予算に追加その他の変更を加える必要が生じたときは、運営委員会の承認により、補正予算の調整をするものとする。

(情報等の公開広報)

第16条 本会の会議等は、公開を原則とし、事業計画、予算決算についても、地区住民に広く周知するものとする。

- 2 会員はいつでも本会の会計・帳簿及び議事録等の閲覧を申請することができる。
- 3 前項の規定による閲覧申請があった場合は、会長は遅滞なくこれを許可し、関係者立会いの上、閲覧させなければならない。

(顧問)

第17条 本会に顧問を置くことができる。顧問は運営委員会において選出し、会長が委嘱する。委嘱期間は1年とする。

(その他)

第18条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は会長が総会に諮り別に定める。

- 2 この会則を補完し運営を円滑にするために、細則を運営委員会に諮り別に定めることができる。
- 3 区長は各集落において区長が行う業務、行政協力業務、その他必要業務を行うものとする。
- 4 区長会は行政協力協定の締結に関する事項を会長に一任する。

附則

- 1 この会則は、平成16年 2月28日より施行する。
- 2 この会則の規定にかかわらず、役員、振興委員の任期等は平成16年度から適用とする。
- 3 平成15年度の会計年度はこの会則の実施の施行する日から、平成16年3月31日までとする。
- 4 平成16年4月29日に一部会則の改正（第6条・第7条・第8条・第14条）
- 5 平成18年4月22日に一部会則の改正（第6条・第7条・第8条・第14条）
- 6 平成20年4月19日に一部会則の改正（第4条・第6条・第14条）
- 7 平成21年4月18日に一部会則の改正（第6条・第7条）
- 8 平成22年4月17日に一部会則の改正（第6条・第14条）
- 9 平成24年4月21日に一部会則の改正（第4条・第6条・第7条・第8条・第12条・第14条）
- 10 平成25年4月20日に一部会則の改正（第17条）
- 11 平成26年4月19日に一部会則の改正（第6条・第14条）
- 12 平成27年4月25日に一部会則の改正（第6条・第12条・第14条）
- 13 平成28年4月23日に一部会則の改正（第6条・第14条・第15条・18条）

別表 1

各集落振興委員数（区長以外）

世帯数	振興委員数	備考
10戸未満	2名以内	2名の場合は男女各1名
10戸以上～40戸未満	2名（男女各1名）	
40戸以上～80戸未満	4名（男女各2名）	
80戸以上	6名（男女各3名）	

令和2年度振興委員・各部構成

No.	部名	名前	選出	
1	ふるさとふれあい部	瀧見 尚是	若須町	部長
2	ふるさとふれあい部	清水 淳雄	菖蒲谷町	副部長
3	ふるさとふれあい部	谷口 文章	公募	事務局
4	ふるさとふれあい部	野口 千治	曾原町	会計
5	ふるさとふれあい部	恒本 浩市	区長	
6	ふるさとふれあい部	向嶋 衛	区長	
7	ふるさとふれあい部	南出 敏昭	区長	
8	ふるさとふれあい部	堀江 周一郎	スポーツ協会	
9	ふるさとふれあい部	宇都宮 末己	区長	
10	ふるさとふれあい部	服部 秀一	沓掛町	
11	ふるさとふれあい部	南谷 芳行	下黒川町	
12	ふるさとふれあい部	名田 淳賢	さぎ草王国	
13	ふるさとふれあい部	寺尾 忠保	小野町、区長	
14	ふるさとふれあい部	谷口 平登	鴉が平町、区長	
15	ふるさとふれあい部	中井 清春	粟野町、区長	
16	ふるさとふれあい部	清水 知子	牧町	
17	ふるさとふれあい部	谷口 正則	区長	
18	ふるさとふれあい部	南出 隆司	壮年G連絡協議会	
19	ふるさとふれあい部	服部 美喜夫	萩原町	
20	ふるさとふれあい部	山口 正秀	区長	
21	ふるさとふれあい部	嶋田 雅彦	商工会	
1	福祉健康部	宇都宮 昌江	安戸町	部長
2	福祉健康部	下野 育代	下黒川町	副部長
3	福祉健康部	清水 智子	公募	事務局
4	福祉健康部	上杉 民子	公募	会計
5	福祉健康部	砂畑 久美子	都辺・上杉本町	
6	福祉健康部	恒本 ひとみ	サポートしらやま	
7	福祉健康部	山下 裕己	区長	
8	福祉健康部	小林 正美	千合谷町	
9	福祉健康部	向嶋 和枝	民生委員	
10	福祉健康部	黒田 妙子	老人クラブ	
11	福祉健康部	北野 実男	区長	
12	福祉健康部	辻 富美子	民生委員	
13	福祉健康部	棗 雅子	食改	
14	福祉健康部	増田 久恵	サポートしらやま	
15	福祉健康部	中屋 利津子	民生委員	
16	福祉健康部	岡田 洋子	公募	
17	福祉健康部	奥田 博一	民生委員	
18	福祉健康部	堀江 しのえ	食生活改善推進委員会	
19	福祉健康部	眼関 慶子	小杉町	
20	福祉健康部	新谷 英夫	区長	

No.	部名	名前	選出	
1	しらやまっこ育成部	加藤 智也	中学校PTA	部長
2	しらやまっこ育成部	小原 信二	米口・仏谷町、小学校PTA	副部長
3	しらやまっこ育成部	畠 広文	上黒川町	事務局
4	しらやまっこ育成部	奥田 美幸	白山バトミントン	会計
5	しらやまっこ育成部	寺尾 直樹	堀町	
6	しらやまっこ育成部	河合 慶子	堀町	
7	しらやまっこ育成部	八本木 有子	丸岡町	
8	しらやまっこ育成部	奥山 実男	上黒川町	
9	しらやまっこ育成部	生田 健一	公募	
10	しらやまっこ育成部	橋本 由佳	小学校PTA	
11	しらやまっこ育成部	吉田 悦世	中学校PTA	
12	しらやまっこ育成部	加藤 眞美	中野町	
13	しらやまっこ育成部	田中 康紀	子ども園保護者会	
14	しらやまっこ育成部	前田 利隆	子ども園保護者会	
15	しらやまっこ育成部	丸山 邦子	子供会	
16	しらやまっこ育成部	新谷 有弘	子供会	
17	しらやまっこ育成部	平林 尚代	白山サッカー	
1	安全防災部	下野 勝美	区長	部長
2	安全防災部	西谷 秀雄	土山・小谷町、区長	副部長
3	安全防災部	後 琢巳	牧町、区長	事務局
4	安全防災部	横山 幸子	赤十字奉仕団	会計
5	安全防災部	竹内 明美	二階堂町	
6	安全防災部	小泉 勝広	二階堂町	
7	安全防災部	坂田 めぐみ	菖蒲谷町	
8	安全防災部	佐竹 正範	金華山グリーンランド	
9	安全防災部	稲菊 幹雄	丸岡町	
10	安全防災部	棗 喜三雄	区長	
11	安全防災部	谷口 正治	曾原町、区長	
12	安全防災部	橋本 君代	運動普及推進委員会	
13	安全防災部	山下 光一	防犯隊	
14	安全防災部	嶋崎 功一	防犯隊	
15	安全防災部	本多 勇	消防団	
16	安全防災部	大門 淳一	交通安全協会	

No.	部名	名前	選出	
1	広報部	酒井 和則	公募	部長
2	広報部	坂下 在良	安養寺町	副部長
3	広報部	小林 忠之	公募	事務局
4	広報部	塚崎 絹子	沓掛町	会計
5	広報部	前田 利隆	公募	
6	広報部	小原 英子	米口・仏谷町	
7	広報部	奥野 裕大	スポーツ協会	
8	広報部	宮崎 凜	公募	
9	広報部	水谷 澄人	公募	
10	広報部	石川 優也	公募	

1	自然環境部	石田 正秀	中野町	部長
2	自然環境部	北野 多喜子	公募	副部長
3	自然環境部	上出 修	区長	事務局
4	自然環境部	小林 葉子	安養寺町	会計
5	自然環境部	上嶋 孝行	都辺・上杉本町	
6	自然環境部	若泉 宗崇	千合谷町	
7	自然環境部	山田 泰之	区長	
8	自然環境部	大西 藤夫	区長	
9	自然環境部	島田 雅夫	安養寺町	
10	自然環境部	上野 ゆみ子	安養寺町	
11	自然環境部	小山 春彦	安養寺町	
12	自然環境部	夏梅 敏明	老人クラブ・水辺の会	
13	自然環境部	坂下 正機	小杉町	
14	自然環境部	滝見 俊行	区長	
15	自然環境部	山口 香織	萩原町	
16	自然環境部	上野 和美	水辺の会	

No.	部名	名前	選出	
1	施設運営部	橋本 弥登志	公募	部長
2	施設運営部	横山 一衛	安養寺町	副部長
3	施設運営部	前田 利博	公募	事務局
4	施設運営部	窪田 美喜子	公募	会計
5	施設運営部	上杉 徹	スポーツ文化クラブ	
6	施設運営部	田中 隆至	金華山グリーンランド	
7	施設運営部	森 和恵	水の里しらやま	

令和2年度 役員・事務局

1	会長	岡山 秀昭	区長
2	副会長	滝見 俊行	区長
3	副会長	大西 藤夫	区長
4	副会長	岡田 洋子	公募
5	副会長	橋本 君代	運動普及推進員会
6	事務局長	前田 利博	公募
7	副事務局長	下野 勝美	区長
8	副事務局長	橋本 弥登志	公募
9	会計責任者	坂田 秀毅	公募
10	参与	表 利右衛門	公民館長
11	監事	向嶋 衛	区長
12	監事	稲葉 多津子	前副会長
13	顧問	坂井 諭一	前会長